

# 架け橋だより

広島市乳幼児教育保育支援センター

## 楽しい！安心！給食大好き！

初めての学校給食☆ ～広島市立基町小学校の1年生の先生にお聞きました～



令和8年度の架け橋だよりでは、小学校生活を主体的に過ごす入学直後の1年生児童の様子や、そのために、小学校教諭が“何を大切に指導しているのか”といったことについて、お伝えします。また、今年度は、広島市立基町小学校に協力していただき、入学直後から1年生の生活や学習の様子を、シリーズでお伝えしておりますので、架け橋期の取組の参考にいただければ幸いです。

**先生** = 1年生の先生    **センター** = センター職員

### ■ 時間を柔軟に使って

**センター** 今年度、初めての給食指導、お疲れさまでした。今回は、1年生の給食開始の日に、取材させていただきましたが、前回に続き、大変忙しい日にご対応いただき、本当にありがとうございます。

**先生** 特別なことをしているわけではないので、大丈夫ですよ。

**センター** 早速ですが、給食の前に、4時間目が終了する頃、教室へ入らせてもらいましたが、算数科の授業で児童が楽しそうに学習していましたね。

**先生** ありがとうございます。本当は、もう少し、授業を進めてもよいのですが、初めての給食なので、ゆとりをもって給食準備ができるよう、柔軟な時間配分にしました。

【給食前の算数科の授業の様子】



**センター** なるほど。1年生の児童が、無理なく給食の準備を進められるようにしているのですね。

**先生** 多くの学校では、新一年生の児童が学習や生活に慣れることができるよう、工夫して、時間を柔軟に使っていると思います。

4時間目の授業が終わる頃、「おなかすいた～。」という声が、児童から出ていましたよね。(笑)

**センター** そうそう、どの児童からも給食を楽しみにしている様子が伝わってきました。

### ■ 形式張らずに、安心して楽しい給食の時間になるよう目指して

**センター** 給食指導をするに当たって、先生が大切にされていることを聞かせてください。

**先生** 私の場合は、あまり形式張らず、児童が給食の時間を楽しみ、安心できるよう、心掛けています。児童は、それぞれに、家庭などの居場所があり、文化を持っています。食も一つの文化なので、給食の時間は、児童が互いを理解し合える一つの機会にしたいと思っています。

**センター** 詳しく教えてください。

**先生** 外国にルーツを持つ児童をはじめ、全ての児童は、それぞれの家庭や文化の中で育ち、異なる経験を持ち、教室という同じ場で給食を食べます。そこは、多文化理解の場になります。例えば、宗教食、アレルギーなどに対応する給食を目にすると、多くの児童は、対応食を見て、素直にいろいろな疑問や興味を持ちます。

**センター** そうでしょうね。先生は、児童がそういった素直な疑問や興味を持った時、どう指導するのですか。

**先生** まず、大前提として、そういった機会を大切にしています。児童が、自分とは異なる家庭や文化があることを認識したり、健康について考えたりするきっかけになります。それは、他者を理解するきっかけにもなり、広がりも生まれます。さらに、その機会を生かすには、まず、安心できる人間関係と教室の雰囲気が必要になります。指導はその様子を捉えながら必要に応じて適切に行いたいと思っています。

そのため、初めての給食指導では、例えば、「絶対に残さず食べなければならない。」とか、「静かに食べなければならない。」など、いわゆる「ねばならぬ」といった形式的な指導から開始するのではなく、児童が、みんなと一緒に食べることを楽しめるベース作りをし、その上で、「残さず食べてみたい。」「今は静かに食べよう。」など、児童が自ら納得し、気付き、行動したくなるような指導を心掛けています。

**センター** よくわかりました。本日の給食の様子を振り返ると、確かに、先生が給食指導で大切にしていることが表れていると思いました。

**先生** そう言っていただけると嬉しいです。

## ■ 児童が自分でできることは任せて、できないことを助ける。

【給食エプロンを着ようとする児童】

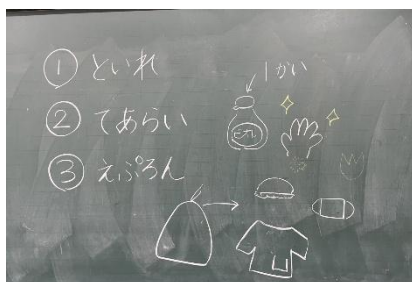


**センター** そういえば、給食の準備の際に、トイレ、手洗い、エプロンの着用について、簡単に児童へ説明してから準備を始められましたよね。初めての給食なので、もっと時間をかけて詳細に指導されるのかと思っていました。

**先生** 簡単でしたよね。恥ずかしながら、説明の板書も簡単でしたし。(笑)

初めての給食といっても、ほとんどの児童は幼稚園・保育園等でトイレも使っているし、手も洗っているし、着替えもしており、基本的な生活習慣に必要な経験をしています。ですから、その経験を踏まえ、児童が自分でできることは自分でやってもらい、できないところを援助するというイメージをもって、児童に話をしました。

【給食の準備の説明の板書】



**センター** 見ていると、本当にそんな感じでした。例えば、エプロンを着る際も、児童が自分でどんどん着ていましたね。エプロンが逆さになって困っている児童には、先生が声を掛けたり、援助したりされましたが、基本的に先生は見守るスタンスのように見えました。そして、着替えている児童たちに、「エプロン着られるよね。上手だね。」など、児童が頑張っていることやできたことなどを認める声掛けをされていると感じました。

**先生** そんな風に見ていただいてありがとうございます。児童は、幼稚園や保育園等でたくさんの力を育ててもらっているので、手を掛けすぎないようにしながら、児童の様子を見ながら、援助すべきところはしっかりサポートします。また、6年生の児童や校内の先生方が給食をついでくれますが、1年生の児童は、自分のおかずや主食を自分で取りに行くことができます。そのため、自分の給食は、お盆を持って自分で取りに行ってもらいます。

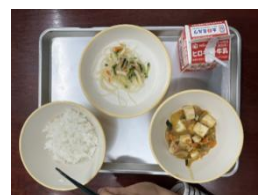
【自分の給食を取りに行く児童の様子】



【給食の準備ができた様子】



【当日の給食】



- ・ぎゅうにゅう
- ・ごはん
- ・なまあげのちゅうかに
- ・ちゅうか
- ・サラダ

**センター** 先ほど先生が、「児童が自ら納得し、気付き、行動したくなるような指導」を心掛けているといったお話をされていましたが、児童の姿にもそれが表れていました。

**先生** え、いつの場面のことですか？

**センター** 牛乳が嫌いと言っていた児童がいて、その児童の席へ先生が行った時のことです。

**先生** あー！あの児童は凄かったですよね。

【牛乳の苦手な児童のそばに寄る先生】



**センター** そうですよ。見ていて微笑ましかったし、児童がチャレンジしようと思った瞬間でした。

※ 以下、その時の児童と先生のやり取りの一部

Ⓢ = 児童、Ⓜ = 先生

Ⓢ 「牛乳嫌い。」

Ⓜ 「そうなの？飲めるだけ飲もう。」  
(少し減った牛乳を持つ)  
「え！少し飲んでるじゃん。頑張ったね〜。」

Ⓢ 「・・・。」  
「もう少しだけ飲む。」  
「ゴク・・・。」  
「ゴク、ゴク、ゴク。」  
(牛乳がほぼなくなる。)

Ⓜ 「頑張ったんだね〜。」  
Ⓢ (得意気な表情)

**先生** 私もあれは驚きました。

**センター** そこから、他の児童が「僕も、全部飲んだよ。」「給食、全部食べたよ。」といったように、自分が飲み終えたもの、食べ終えたことを、次々と先生に報告していましたよね。

**先生** そうそう。みんな、本当に頑張ってくれるし、かわいかったですよね。

【児童がチャレンジした牛乳】



**センター** 初めての学校給食とは思えないほど、児童がリラックスし、落ち着き、安心できる雰囲気の中、友達と会話を楽しみながら食べている姿を見ることができて、本当に嬉しかったです。4時間目終了間際の、給食が待ち遠しい児童の姿が思い出されます。

**先生** そういえば、児童が今日の給食を楽しみにしている要因の一つには、1時間目にゲストティーチャーとして、来てくれた給食室の先生からのお話があったからかもしれません。

**センター** え〜っ、、、 そうだったのですか。その時の様子もぜひ見たかったです。

**先生** ごめんなさい。事前にお声掛けしておけばよかったです。

**センター** いえいえ、お忙しい中、給食の様子を見せていただけだけでもありがたかったです。それでどんな様子だったのですか。

**先生** 3人の給食室の先生からは、「今日は、みんなの美味しい給食を頑張って作るからね。」というメッセージをもらったり、調理に使う給食室の器具を児童に見せてもらったりしました。そして、一人ずつ自己紹介をしてくれました。児童はとても興味を持っていました。

**センター** 確かに、そういった給食室の先生の姿や話を事前に聞くことができると、児童は、給食の時間が待ち遠しくなりますね。

**先生** そうですね。それに、給食室の先生に限らず、校内のいろいろな先生方に関わってもらうことは、児童の安心感につながると思います。昨年度もそうでしたが、実際に、基町小学校の先生方は、1年生のことをよく見守り、支えてくださるので、ありがたいです。

**センター** 小学校内の先生方に見守られているという安心感は、入学直後の児童にとって、小学校生活を円滑にスタートするために、とても重要になりますよね。

**先生** 本当にそう思います。

【給食室の先生が教室に来た様子】



**センター** 本日も、たくさんお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。

**先生** こちらこそ、ありがとうございました。来週は、幼保小連携推進委員会がありますので、お待ちしておりますね。

■ 次回は、幼保小連携推進委員会の様子をお届けいたします。